

消防功労者消防庁長官表彰を受賞

富良野広域連合 南富良野消防団

永年にわたり防災思想の普及、消防施設の整備、その他の災害の防御に関する対策の実施について、その成績が特に優秀で、かつ、他の模範と認められる消防機関として富良野広域連合南富良野消防団（団長高橋逸郎 団員66名）が全国42団体の一つとして3月5日消防庁長官表彰を受賞しました。

表彰式は東京都港区のニッショーホールにおいて行なわれ、石利雄消防庁長官から高橋団長に表彰状と表彰旗が手渡されました。

南富良野消防団は平成13年9月9日、秋雨前線の停滞による集中大雨は南富良野全域を襲い、道路・橋・建物等に甚大なる被害をもたらした。団員は、自らの住宅の罹災もかえりみず、5日間にわたり警戒と復旧にあたりました。

又、昭和57年11月30日、金山の酪農家より出火、畜舎には搾乳牛が飼育され牧草に延焼する中、団員が怯え暴れる搾乳牛11頭、育成



牛13頭を持参したロープを使い無事避難させた上、畜舎裏に収納された乾燥飼料に延焼し消火作業に困難をきたしている中、梱包された牧草500個を蔦口、鎌等を活用し屋外へ移動させ延焼を最小限に抑えるなどの努力と、昭和62年には富良野地区消防組合を代表して上川地区消防操法訓練大会に出場して優勝するなどの功績が認められたものです。

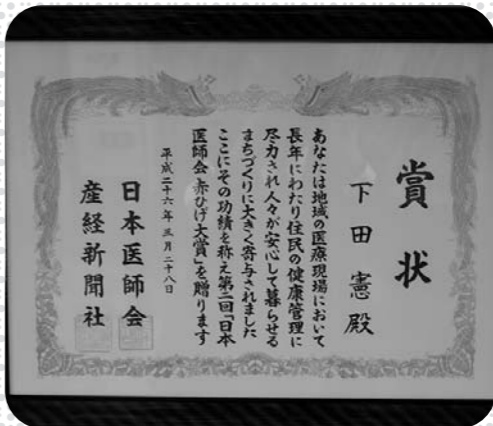
日本医師会 赤ひげ大賞受賞

下田 憲さん (66歳・幾寅)

けん三のことは館クリニックス院長の下田憲さんがこの程、「第2回日本医師会 赤ひげ大賞」に道内で唯一選ばれ、3月28日安倍晋三首相も臨席の中、帝国ホテルで日本医師会会長横倉義武氏から賞状、記念品および副賞を受賞されました。

クリニックスには町内のみならず、道内各地から多くの患者が訪れ、地域内の往診にも献身的に対応し、救急患者を作らない診察と、必要に応じて入院施設のある病院につなぐといった地域医療が果たす役割を担いながら、治療に当たっています。

また医療活動のみならず、休日には老人ホームでアコーディオンを演奏するなど、地域の健康、医療を支え、高齢化が進み医療に対する期待はますます大きくなる中、全国で日夜黙々と地域医療に携わる医師の模範として評価され今回の受賞となりました。



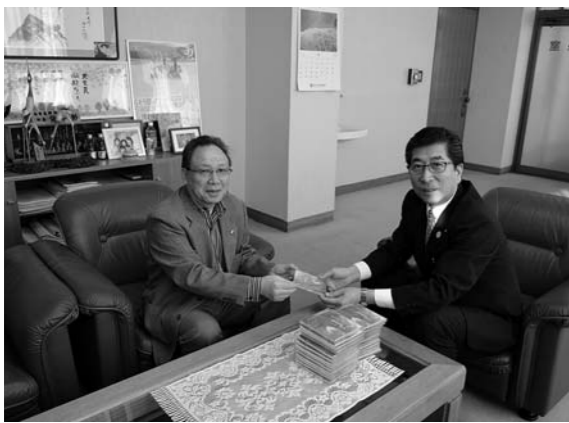
・赤ひげ大賞「地域の医療現場で長年にわたり、健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当て、その活躍を顕彰することで、各地の医療環境整備、医療活動の充実に寄与することを目的に創設されています」

山部の島さんCD寄贈

4月14日、山部在住の作曲家の元東大演習林職員島強之(69)さんが南富良野小学校新築を機に、町内小・中学校児童生徒への環境教育の教材としてCD100枚を池部彰町長へ寄贈されました。

CDには「森をつくろう」をはじめ6曲がおさめられており、島強之氏自身が作詞、作曲をされ、南富良野小学校の校舎内装材に町内産カラマツ材を利用してあることもあり、寄贈を決められたとのこと。

島さんは平成17年まで44年間東大演習林に勤務する傍ら音楽に携わってきており、平成4年作曲した「富良野の町で」の発表をきっかけに日本作曲家協会の会員となり、これまでに100曲近い作品を誕生させてきています。



地域貢献活動

3月26日、幾寅 株式会社ソケイズ(代表取締役 曾慶一介)より、町に對し災害時の対応用備品として次のとおり寄贈があり、町長から感謝状の贈呈を行いました。

○寄贈物件
ガス赤外線ストーブ 7台
一口ガスコンロ 10台
鋳物2重コンロ 10台

4月1日、幾寅小学校校舎改築(現南富良野小学校)工事を施工されました、北菱・小松特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社北菱南富良野支店 取締役支店長 今井登)より町に對し、南富良野小学校開校記念として次のとおり寄贈があり、町長から感謝状の贈呈を行いました。

○寄贈物件
南富良野小学校教育目標表示板(材質…イチイ)一枚



南富良野小学校校長室に掲示しています。

シリーズ学校だより (136) 各学校の取り組みを紹介します。

▶▶下金山小学校▶▶

今年はスノーラフティング

2月28日に、雪と親しむ集会がありました。当初は、14日に行う予定でしたが、町内インフルエンザが蔓延しており、2週遅れの開催となりました。当日は、地域の方も含め30名の方々が参加してくださいました。

今年の目玉は、なんとと言っても「スノーラフティング」顔に雪がかるもなんのその子ども達は何度もボートに乗って楽しんでいました。夜には、アイスクャンدلを点火しました。氷に反射して光るうろくの灯りはとても美しく、参加者は幻想的な光にしばらく目を奪われていました。



第102回卒業証書授与式

3月15日、卒業証書授与式が行われました。今年の卒業生は、及川なほさん、渋谷昌樹君、永井春輝君の3名。保護者や地域の皆さんに見守られる中、心温まる式をあげることができました。



門出の交歓(呼びかけ)の中で、在校生が卒業生との思い出を伝え、また、卒業生は6年間の小学校生活を振り返り、地域の方、お父さん、お母さんへ感謝の気持ちを伝えました。

式のおとは、卒業を祝う会を催し、地域みんなで6年間の成長の思い出を語り談笑のひと時でした。